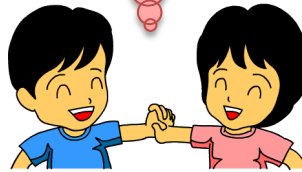


平成26年度 国語科の授業改善へ

H26.4.14

新学期の児童生徒は・・・

新しい先生、教室、友だち、教科書、ノート
勉強、運動に頑張るぞ！



平成26年度が始まりました。
新しい先生、教室、友だち、教科書、ノートと新鮮な気持ちで子どもたちは、新年度を迎えています。
私たち教師もこの機会を逃さずに、「わかる・できる授業」をめざす、授業改善に向けての一步を踏み出しましょう。

しかし、このような声が・・・

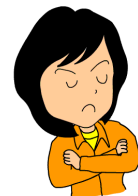
国語科は教えることが多くて、何から始めればいいのか分からないな。



言語活動の充実など難しいことが多いな。



授業改善は大切だと思うけど毎日忙しくて・・・



今年度も、HP「教科の部屋」で情報を発信し、子どもたちの学力向上に役立てていただければと考えています。今回は、「授業改善チェック表（国語科編）」を作成してみました。気軽に行い、今年の授業改善の参考にさせていただけたらと思います。

授業改善チェック表（国語科編）



週案は、毎週きちんと書き、提出している。

いいえ

言語活動の充実を意識した国語科の授業を行っている。

いいえ

国語科の定着確認シートを授業で活用している。

はい

はい

いいえ

いいえ

教材研究を週に5時間以上行っている。

はい

研究団体（小教研・中教研など）に所属し、国語科を研究している。

いいえ

教育センターなどの国語科指導の講座に参加する予定がある。

はい

いいえ

いいえ

いいえ

指導案を作成した国語科の授業を年3回以上行う予定である。

はい

教育関係書（雑誌を含む）や一般書を合わせて月3冊以上は読む。

はい

国語科の授業を公開する機会（授業参観等）が、学期1回以上はある。

はい

いいえ

いいえ

いいえ

小・中教研や市町村の学力向上研究会、小中連携事業等、校外の先生方に授業を公開してみましょう。これまでとは違った視点から自分の授業を見直す機会となり、授業力はさらに向上します。

事務所のHP「教科の部屋」や実践事例集「～今、目指したい授業～」などを参考に「よい授業をまねる」ことから始めましょう。そして、校内授業研究や要請訪問等で国語科の授業を行い、実践を積み重ねていきましょう。

まずは、校長先生、教頭先生、研修主任・学年主任の先生等、身近な先生にお願いして、自分の普段の国語科の授業を参観していただきましょう。改善すべきところが明確になります。

授業改善のために大切なことは

- 失敗を恐れず、進んで自分の授業を公開しましょう。
- 独りよがりにならないように、情報収集をこまめに行いましょう。
- 授業改善は、「子どものため」ということを忘れずに……。

